



NETWORK VOL.139

TEERRA



～認定NPO記念～あなたのワクワクで世界をつなごう！

「原点回帰」地球市民 感動共感 1万人プロジェクト

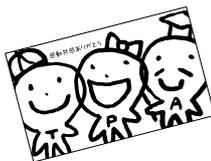
地球市民の会は、世界平和と親善、地域社会の向上発展に貢献することを目的とし、設立以来27年間、国内外で活動を続けてまいりました。その専門性や先進性は多くの方からご評価をいただき、2010年7月1日より佐賀県初の「認定NPO」となることができました。

しかし、その一方で、「昔の地球市民の会には、今よりもっと感動があった」という声を会員さんよりいただきました。それは、古賀先生が亡くなった後、会を存続させることや事業を発展させることに集中せざるを得ず、本来大切にすべき「まごころのコミュニケーション」が十分にできなかったということが原因でしょう。「感動無くして何が人生だ！」これは、古賀先生がいつも熱く語っていた言葉です。感動があるからこそ、人は成長することができるのです。

そこで、認定NPOになった今、私たちは本来の「感動」ある組織に立ち戻ることを決意し、「地球市民 感動共感 1万人プロジェクト」を行うことを決めました。当プロジェクトでは、皆さまに感動を味わっていただくことを目的とし、以下の活動方針を掲げます。

- ・会員の皆さま、地域の皆さまに、感動体験・感動情報を提供します。
- ・ご支援いただいた皆様に感謝の気持ちを伝えます。
- ・あっと驚くようなこと、ワクワクすること、面白いことをどんどん行います。

そして、地球市民の会と関わり、感動を共感してくださった方々に対して「感動共感ありがとうカード」をお渡します。3枚集めるとオリジナルグッズに交換できる、大変楽しいカードです。私たちも、多くの方にオリジナルグッズを手にしていただけることを夢見て、努力してまいります。2010年7月1日から2011年6月30日までの1年間、どのような感動が味わえるか、皆さま楽しみにお待ちください！



CONTENTS ■ 2010夏

古賀武夫先生の言葉を迎える
敬天愛人 一隅より、世を照らさんー Vol.1
『アメリカの分析と私たちの課題』
大野 博之 2

■地球市民の会

和顔愛語	佐藤 昭二	3
第9回通常総会		4
「どうして？おしえて！大串政務官！」		5
タイ事業 活動日記		6
ミャンマー便り		7
地球市民の会 NPO 法人認定		8
村プロジェクト活動だより		9

■夢の学校をつくる会

夢の学校タマテ箱		10
武ちゃん語録		11

■古賀英語・空手道場

道場通信		12
英語的思考のススメ		13

■共同執筆

4～7月のお知らせ		14
-----------	--	----



敬天愛人

—一隅より、世を照らさん—

Vol.1

『アメリカの分析と私たちの課題』

大野 博之



'90/5/29 初代地球市民の会事務局玄関前

今月号から「古賀武夫ブックレット 第三号『敬天愛人 —一隅より、世を照らさん—』から、古賀先生の言葉を辿ってみたいと思います。

古賀先生はご自分の人生を十の時期に分けられるとおっしゃっていました。その中で地球市民の会の活動がもっとも活発化した第六期、第七期の様々な文書を二冊のブックレットに収めたのが「古賀武夫ブックレット 第三号『敬天愛人 —一隅より、世を照らさん—』」です。時期で言いますと平成二年から平成六年までの五年間。年齢で言うと四十歳から四十五歳までの間です。活動が全国規模となり、様々な事業へと拡がっていき、まさに「ノリにノリ」って、という状態でした。

今号で、平成二年の佐賀新聞での六回シリーズの連載記事をご紹介します。タイトルは「アメリカ再発見」。平成二年九月八日から約二週間、(財)国際交流センター主催の事業で訪米しています。目的はアメリカの国際交流団体とネットワークを作るための研修旅行です。この記事はこのツアーで思い、考えたことがつづられています。その中からいくつか抜粋いたします。

◆フィラデルフィアでの天国と地獄、フィラデルフィアはアメリカ独立宣言を起草した都市で合衆国誕生の歴史的な場所。人口は百五十二万人で全米第五位、福岡市と大体同じぐらいの都市です。落ち着いて、小奇麗で、古き良きアメリカのような都市ですが、麻薬・犯罪・貧富の差・エイズ・ホームレス・識字率の低さ・低年齢での妊娠など、社会問題は百貨店のようであり、ホテルの近くは身の安全が保障できないので、一人では立ち入らないように言われたりもしました。このような話を聞くにつれ「アメリカは超先進国だと思っていたが、途中からどこかの途上国の話ではないかと思った」と古賀先生は感じていました。そして、「国内にこれだけ国内の問題を抱えながら、なにが対外援助だ」と憤り、その問題の原因は何なのかを問うています。

「ヨーロッパからの移民、ネイティブアメリカンの虐殺、黒人奴隷の使用と虐待、でつくられた歴史の延長線上にある近代化の問題であり、文化の深層にかかわる本質的、根源的な原因」を何故考察しないのかと述べています。

あれから二十年経った今、アメリカはどうなったのでしょうか？そして、二十年前に古賀先生の心の中に灯った「本当の豊かさ、発展とは何か？」という疑問や、それに対する確信が地球市民の会の活動を大きく突き動かす原動力となったのでしょうか。

◆二十年前にすでに今を予見！
アメリカの地域づくりを担っているのは「地域財団」だそうです。地域財団はその地域に根ざした財団で地域の企業や個人から寄付金を受け、その寄付金から地域社会の問題を解決する資金としてNPOに助成する団体だそうです。

地域に根ざしているために地域の問題点の優先順位やニーズをよく理解し、地域から出た資金を地域のために使えるという特性があります。したがって、地域社会の公益実現の中核団体になれるため、地域発展の要になっています。

企業や個人は地域財団に寄付をすると税の控除が受けられることになっています。つまり、地域の問題を解決するために税金を払う代わりにNPOに寄付をすることが出来るということです。

この地域財団の存在を知った古賀先生は「もし、日本にでも財団および民間非営利団体に対する免税措置が法制化されれば、地域の活性化に限らず、日本の民間の活動は飛躍的な伸張を遂げることは間違いない。日本の民間団体は、資金、人材、組織の面で欧米とは比べものにならない程小さいが、その原因は人件費と事務管理費の確保が非常に困難である点に帰着する」と記述されています。

この古賀先生の意見は、まさに今、民主党政権が言う「新しい公益」の担い手としてNPO法人の経営基盤強化のための税制改正と合致します。また、現在の全国四方のNPO法人の悩みそのものでもあります。

時代はわれわれの環境は二十年前とあまり変わっておらず、いよいよ何とかなしなければならなくなってきた、と捉えるならば、古賀先生がすでに二十年前に今の状態を見据えていたのかと思わずにはいられません。

◆一国だけでは成り立たない！

二十年前のアメリカは「世界の警察」として、自信溢れる国でした。その一方で大国としての絶対的な力の衰えが見えてきて、古賀先生も「こじんまりと縮こまった」印象を受けています。そのようなことから、アメリカといえども世界の相互依存のネットワークに身を置かなければならなくなつたと語っています。その点において、「途上国への協力は、お互いにとって有益な、学びあい、生かしあいである。その基本は自立自助であり、助け合う中から、相手を鏡として自己認識が深まり、また、自信も生まれてくる。」と、主張しています。これは今の地球市民の国際協力に対する姿勢そのものであり、「助け合い、ともに学ぶ」という地球市民の会の国際協力理念はこのときから今まで変わりにくく受け継がれているものだといえます。

しかし、古賀先生も「これを理解し、さらに行動に移してもらおうのが、日本に於いても米国に於いても、大変な難事」だと当時からいわれています。地球市民の会が広く多くの方にこれを伝えることが出来ているのか、というのはいまだ課題であり、少しずつ伝えていくという努力をこれからも続けていかなければならないことだと思えます。そしてそれが亡くなられた古賀先生への残されたわれわれの約束のような気がします。



'90/2/28 地球隊 '90(タイにて)

和顔愛語



佐藤 昭二

人間の思念の大きさ

私は以前に人生の「重（おも）い荷物」は「思（おも）い」であると書いた事があります。日常生活に於いて、例えば月末の支払いから老後の心配まで、不安な思いは尽きることが有りません、この不安な思いこそが重い荷物なのです。

この荷物は厄介なもので、癌細胞と同じように、放っておくと、どんどん勝手に増幅していきます。そして終には、荷物を担いでいる本人自体を自殺にまで追い込んでいくことがあります。最終的に自殺に行く前に100%たどり着くのが、鬱（うつ）です。私はこの鬱の状況になるのは先祖の御霊（みたま）と自分が離れている時に起こる現象だと思っています。

鬱の場合は個人の思いが本人に形作って行く問題ですが、多くの思いが集団化した時には大きな社会現象として表れてきます。そう考えれば、ウイルスの世界の一つである口蹄疫も人間の思念とは無関係とは思えなくなってきました。

政治の世界も、教育の世界も、「心の時代」を標榜して久しいですが何一つ変わりません。特に強者が弱者の面倒を見るという図式が変わっていません。つまり、権威とカネとカネという物質的な強さで、心の中の精神的な問題を解決しようとすることに、心の時代の本質的な認識の仕方として問題があるのです。

真の心の時代とは我が心の正体に気付く事でありましょう。人を恨んだり、妬んだり、悪く思う

心の根源は、自分の心の奥底にある執着であり、マイナスの想念によるものなのです。この心の在り様に気付く事無く、常に己の外に解決を求めたとしても、物質的な力に支配される排他的社会を作ってしまうだけですし、そもそも、表面的に収まったと思っても根源的には何も解決はされていません。

私はあるお医者さんからこのような質問を受けた事があります。「長年医療に携わって来ましたが、どういう訳か、訴訟を抱えている人は病気が治り難い。これは何か意味が有りますか？」という事でした。訴訟という執着があるために、心が囚われたままになり、身体を健全にするための妨げとなっているという証左でしょう。まさしく恨み、妬みという生霊の横行であり、人を呪わば穴二つです、すなわち自分の墓穴をも掘ると言う事です。

今の時代は、自分の心のマイナスの『思念』から、世にも恐ろしい自分をも滅ぼしてしまう『恨み』というお化けが飛び出してきていることに気付かず日々を生きている人で溢れている状態であると言えるでしょう。

私たちは地球市民として他人に感謝と思いやりを持ち、不足を持たずしっかりと足るを知って生きていきたいものです。

第9回通常総会 開催されました！

平成22年5月16日、佐賀県佐賀市のアバンセ第2会議室で特定非営利活動法人地球市民の会第9回通常総会が開催されました。

現在の議決権のある会員（会の土台を支えていただいている会員）は323名ですが、当日の出席者が34名、委任状提出者72名で、定款に従って総会が成立しました。

総会の詳しい資料は同封の平成21年度活動報告書をご覧ください。その中から、要点をご紹介します。



TPA事務局の美人軍団による受付



佐藤会長によるご挨拶です♪

平成21年度 地球市民の会の一年(事業概要)

- ◆期待の国内での事業中山間地元気再生事業、始まりました。
- ◆佐賀市や佐賀県、(株)MIZとの協働事業など新しい事業も行いました。
- ◆ミャンマー事業の評価が高まっています。ミャンマープロジェクト第三フェーズの計画策定もいたしました。タイ事業のリニューアルも決まりました。
- ◆ミャンマー政治問題による事業の停滞が心配です。
- ◆安定経営のための自主事業収入などの新しい事業が遅れています。22年度に期待です！
- ◆古賀前会長逝去の後の会員、寄付者の減少は少なくなってきましたが、21年度は微減。地球市民の会が皆さんに喜んでいただける会であるのかを自問し続けています。
- ◆認定NPO法人資格取得の申請を行いました。
- ◆会計システムが徐々に改善されています。



議事内容を真剣にチェックする会員さん

平成22年度 地球市民の会の活動方針

- ◆「感動共感1万人プロジェクト」を7月から1年間はじめます。
- ◆ミャンマー事業が第3段階に入り、タイ事業の新展開が始まります。
- ◆国際協力事業の新しい事業として、スリランカ、ラオス、国際交流事業として韓国、ブータン、デンマーク（北欧）とのプロジェクトの検討を進めます。
- ◆韓国との国際交流を「日本と韓国でアジアの課題を解決するミッション」と捉え直していきます。
- ◆中山間地元気再生プロジェクトが、いよいよ実働していきます。また、「農」プロジェクトを研究していきます。
- ◆タイの教育支援を目的にしたチャリティショップの开店、ミャンマーの学校建設を目的としたチャリティ・ネット・ショッピングモール「チャリモ」の開設を夏までに行います。
- ◆経営カイゼンに取り組んでいきます！会員さんにもっと「感動」を、もっと「楽しい」を、もっと「やってよかった」をお伝えするために！

地球市民の会の21年度の総括と、22年度の意気込みを皆さまにお伝えする時間となりました。今年も地球市民の会はがんばります！

第9回通常総会記念イベント

会員大討論会

～NPOの未来を考える - 今、地球市民の会は何ができるのか?～

「どうして?
おしえて!
大串政務官!」

日時：平成22年5月16日（日）15:15～16:45

場所：アバンセ第2研修室

出演者：

メインスピーカー 大串博志 財務大臣政務官（衆議院議員）・地球市民の会顧問

コメンテーター 古川 康 佐賀県知事・地球市民の会名誉会長

代表質問者1 佐藤昭二 地球市民の会会長

代表質問者2 山口久臣 地球市民の会副会長

コーディネーター 山下雄司 地球市民の会理事長

地球市民の会は、第9回通常総会を記念し、NPOの役割などを考える討論会を開催いたしました。地球市民の会の会員でもある大串政務官や古川知事というビックなゲストをお呼びし、NPOの有効性、寄付控除制度の現状と課題、道州制と地方分権という旬なテーマで意見を交わしていただきました。会場には地球市民の会会員だけでなく、NPO関係者など、60名以上の方々にご参加いただき、大変盛り上がった討論会となりました。ここでは、討論会でのコメントを一部ご紹介いたします。



大串政務官、古川知事、佐藤会長、山口副会長

※イベント時、地球市民の会は認定NPOの申請中でしたが、その後、2010年7月1日より佐賀県初の認定NPOとなりました！

テーマ1「新しい公共」におけるNPOの有効性について

大串

税を払うだけではなく、体を、行為を、活動を使って、公のために何かできるのではないかと、というのが「新しい公共」という考え方です。

山口

初めに志と大儀がどのくらいあるのか、それに社会的力をどれだけつけられるのかということがNPOとしては大切だと思います。さらに発展すると、行政だけではなく、NPOがその地域の予算を半分くらいは決めようという流れになっていけるのではないかと思います。また、そうやっていくことが「新しい公共」ではないかと思います。

大串

今日、参加されているNPO関係の方々には、問題意識が高いと思います。国や県が何をしてくれるかということよりも、自分達が何をできるかを考えようとする意識があります。この意識を、佐賀県だけでなく、日本全国に広げていただきたいと思います。日本全国で、今、私たちが何をすべきなのか、誰かに任せるとはせず、自分たち自身で動かす日本にならなければなりません。そういうことを広めるリーダーシップの役割を、地球市民の会の皆様には果たしていただきたいと思います。私自身もその想いを胸に据えながら活動していきます。

テーマ2「NPO法人に対する寄付控除制度」の現状と課題

大串

今日の議論全体のポイントとなることは、「私たちが選択できることの重要性」だと思います。NPOの税の優遇措置は、単にNPOへの寄付金を促進するためではありません。税を行政に払って行政に仕事をしてもらうのか、NPOに払ってNPOにやってもらうのか、選択肢を皆さんが持てる社会になるということです。住民・市民としての選択する権利が、今の新しい日本においては大切なのではないのでしょうか。

古川

今までは何に使われるか知らずに税金を払ってきましたが、NPOの寄付の税制が所得控除から税額控除に変わることで、地球市民の会に寄付すると、その分納税額が下がるようになり、「私はこのために税金を払ったんだ」と実感できるようになるということです。ずいぶん世の中が変わっていくと思います。

古川

日赤、ユニセフ、地球市民の会に寄付してきましたが、全然違います。何が違うかと言うと、「こういったところに使った、相手からこんな返事をいただいた、佐賀県のお金でこういう風にしました」と報告してくれたのは地球市民の会だけです！

テーマ3「道州制と地方分権、地方主権」とNPOの果たすべき役割

大串

「補完性の原理」と言うヨーロッパで普及している考え方があります。それはまず、コミュニティーでやれることはコミュニティーでやる。そして、市町村でできることは市町村がやる。「この問題は大きかけん、市町村では決めきらん！」ということなら県が、「県でも大きければ、決めきらん！」ということに関しては国が決めるということです。



佐藤

日本のボランティア意識とミャンマーの子どもの生き方には違いがあると思います。ミャンマーの子どもたちには常に祈りがあります。だから、私たちは「放っておけない」という気持ちになるのです。私たちのボランティア意識は、税制やシステムで解決できる問題なのではないでしょうか？大串先生の問題ではなく、私たち自身の問題だと思います。私たちのあり方を見直すことが必要ですし、そのためのフィールドが必要だと思います。

古川

例えば、夏の高校野球のとき、佐賀を応援しますよね。で、佐賀が負けたら九州を応援する。そして、九州が全部負けると夏が終わるんです。そういう感覚がありますよね。そういう感覚があるところは、まとまりがあるから道州制のモデルになると思います。

これから、道州制について考える時期になると思いますので、私たちはどんな話になっても大丈夫のように、しっかり議論をしていきたいと思っています。先に形ありきではなく、基礎的な自治体にしっかりと権限や財源を移譲し、自分達のことでは自分達でしていくという雰囲気づくりをしていきたいと思っています。

いかがでしたでしょうか？討論会の全文レポートは地球市民の会のホームページよりご覧いただくことができます。

(<http://tpa.nk-i.net/>)全文レポートを紙資料でご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

タイ便り

チャリティーショップ『ばーん・たわん』開店しました

タイの子ども達のために、気軽に始められる国際協力…本年度、新しく動き出したチャリティーショップ事業。6月21日(月)ついにチャリティーショップ「ばーん・たわん」が誕生しました☆
佐賀地元企業さんと力を合わせて、佐賀から思いやりの輪を広げていきたいです。



ニューポーン佐賀店内(佐賀市開成6-5-29号)

チャリティーショップとは…?

タイ・東北部の奨学金を支給している子ども達の地域で暮らす子ども達により充実した支えを届けることができるようにと、市民のみなさんからご寄付頂いた婦人服・子ども服・装飾雑貨を販売するお店です☆



小松商店内
(佐賀市兵庫町大字藤木 1490) で、皆さまからの寄付品を大切に保管しています☆

屋号『ばーん・たわん』の由来

タイ語で『太陽の家』の意味。『世界中の人が太陽のように温かい心を持って、ひとつ屋根の下で暮らすことができるように』と願いを込めています。

どんな物が寄付されている??

ワンピース、パンツ、スカート等、主に婦人服を届けて頂いています。大切に使用されてきた品物の数々です☆



お金ではお手伝いできないけど、自分が持っている服で協力ができるなら☆

活動の輪が大きく☆

『ばーん・たわん』が開店して3日目。ニューポーン佐賀店に来店された奥様が『こんな取組みの商品だから買うわ』と、ご寄付頂いたばかりの物を手に取って下さいました。『タイの子ども達のために何か・・・』とご寄付頂いた方とご購入頂いた方の思いがつながりました。『そのような温かい思いを持ってお客様が買い物をして下さる姿に感動した』とニューポーン佐賀店の社員さんがお話して下さいました。

活動の輪がどんどん大きくなっています☆みんなの温かい思いが詰まった『ばーん・たわん』。奨学金の里親さん、『ばーん・たわん』への寄付者・購入者、皆さんの思いを大切にタイの子ども達へ届けていきたいです。

寄付品と一緒に嬉しい声が届いています!!



おばあちゃんが着ていた服…着ないけど、捨てるのはもったいない。こんな形で役に立つなんておばあちゃんも喜んで☆



★★ボランティアさん★★ 大募集中

ブランド物に詳しい方、整理整頓が得意な方、何かタイの子ども達のためにやりたいとお考えの方…得意なことを生かして、一緒に『ばーんたわん』の活動を作りませんか?



サガテレビかちかちワイドで『ばーん・たわん』が登場!!

倉庫もお店も公開します☆ばーん・たわんって何だろう? ばーん・たわんをじっくり知りたい方!!ぜひ、ご覧下さい♪
放送予定日: 8月2日(月) 夕方 かちかちワイド
(放送日の変更はHPでお知らせさせていただきます☆)

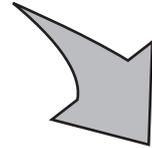


寄付品整理中!



ガナインシェー小学校完成！！

今年1月に建設を始めたミャンマー南シャン州のガナインシェー小学校 (Sakai School) が6月はじめ完成しました！(詳細はブログに！)
村の子どもも大人も、支援してくださった坂井さんもとでも喜んでくださっています。
今回は、校舎完成にあたり坂井さんにインタビューを行いました！



Q.なぜ支援をしようと思ったのですか？

最初にミャンマーを訪れたのは、慰霊のためだった。それから古賀会長に誘われて視察で再び訪れた。その時、現地ポオー族のリーダーに出会い、彼のポオー族を想う心に感動した。また次世代を担う子どもを育てる大人の熱意に心を打たれたこと、なにより子どもたちの瞳に惹かれ支援しようと思った。

ミャンマーの状況は、戦後日本で経験したことと重なって映る。ミャンマーの人は、我々が支援しようとする、「自分よりもっと困っている人がある、あの人に支援してくれ！」という。その心は、恵まれているのに要求ばかりする日本人が学ぶべき心であると感じている。

Q.完成してご感想は？

建設にあたり、子ども達が掃除をしたり、村の人が労働奉仕をするなどしてくれた。だからこそ完成して喜びはひとしおだと思う。私は、今回仏縁によってミャンマーを訪れ、お釈迦さまのお導きで学校を建てさせていただいた、と思っている。

今後、「おかげさまで」という気持ちをはぐくむ場所として学校があればいいと願っている。「村の心を寄せ合った、ボランティアの汗の結晶が校舎となった」子ども達がその心を学んで、地区の発展、国の発展に寄与できる人間に成長してほしい。



タンボジサポーター募集！

当会のメイン活動地のタンボジ。タンボジ青少年センターでは、毎年18名の高校生が農業を学びながら学校に通っています。本来は貧しく学校には行けなかった子ども達が、タンボジセンターがあるおかげで学校に通うことができている。彼らの夢は、勉強して村の役に立てるようになること。そのために農業も学校の勉強も一生懸命取り組んでいます。

しかし、今そのタンボジセンター運営資金が足りません。タンボジサポーター大募集中です！一口1,000円、タンボジ生を応援してください。

ミャンマースタディーツアーやります

9月5日(日)～13日(月) 7泊9日

参加費：会員174,000円

今回は、少数民族の村の人との交流を中心に、あますことなくTPAの活動地を知るワクワクがたくさん詰まったスタディーツアーです！
詳細はHPまたは事務局まで！

締め切り間近！

ミャンマーに学校を建てよう！

チャリモ 8月1日OPEN!



チャリティを目的としたネットショッピングモール「チャリモ」ここでのお買い物すると、その収益の一部が各出店者を通じ、TPAに寄付され、学校建設費用にあてられるしくみになっています。佐賀の企業にご協力いただき、佐賀の特産物を中心に販売しています。海苔、焼き物、お茶・・・この夏のお中元はチャリモで購入！決まりですね！

あなたのお買い物がミャンマーの子どもたちに教育の機会を与える手助けになります。

ぜひチャリモ、のぞいてみませんか？

<http://www.charimo.jp/>



地球市民の会は平成7月1日より認定NPO法人となりました！

地球市民の会は、このたび、国税庁から「NPO 法人の中でより高い公益性を持った組織」とであると認定されました。「多くの人に支えられ、多くの人のために、正しい使い方で行っている」ということが認められたのだと思います。これは、会員の皆さまのご支援のおかげです。心から皆さまに感謝を申し上げます。

さて、地球市民の会にとって、認定NPO 法人とはどのような意味を持つのでしょうか？簡単にご紹介させていただきたいと思ひます。

現在、全国に3万7千団体あるNPO 法人の中で、国から認定されている団体は約150 団体しかありません。それだけ、国の基準を満たすことは難しいことであり、認定NPO は信頼できる活動・運営をしているということが言えると思ひます。もしも、皆さまが大切なお金をどこかのNPO に寄付し、社会のために役立てたいと思ったとき、認定NPO かどうかは、寄付先を選ぶ際の判断基準の一つとなるでしょう。

また、認定NPO 法人への寄付には、個人も法人も税制上の優遇があります。つまり、皆さまからの寄付は控除の対象となるのです。相続や遺贈も、控除の対象に含まれます。ですので、地球市民の会へ寄付することで、税金が少し安くなるということです。

さらに、本年度の税制改革では、認定NPO への寄付金控除が議論の対象になり、皆さまが一段と寄付しやすい状況になるよう検討されています。例えば、サラリーマンの会員さんで、地球市民の会のタイ奨学生への支援を二人されている場合（24,000 円の寄付）を考えてみましょう。地球市民の会が認定NPO になる前は、寄付をしても何の優遇もありませんでした。現在は認定NPO になりましたので、確定申告をすれば、現行の税制では年間で税金が2,200 円安くなります。しかし、来年度の所得税法改正後にはさらに優遇が大きくなり、12,000 円税金が安くなると見込まれています（確定ではありませんのでご注意ください！）

つまり、この会員さんはタイの子どものために24,000 円を寄付していますが、そのうち12,000 円は税金として国に納めるかわりに、地球市民の会の活動のために使ったということになるのです。これはどういうことかと言うと、「皆さんが、自分の税金の使い方を、自分で決めることができるようになる」ということです。時代の流れは、行政だけに社会の全てのことを任せるのではなく、市民やNPO 法人にも社会を良くする役割を期待する方向に進んでいるのだと思ひます。

地球市民の会は、この認定を機に、活動基盤をより充実させるとともに、市民の皆さまと一緒に良い社会を創っていくことを目指して頑張っています。今後とも変わらぬご支援、ご協力、応援をお願いいたします。

上記の例は、わかりやすくするために単純化した計算ですので、すべてに当てはまるということではありません。ご了承ください。

認定NPO 法人移行に伴う、会員の分類変更ご検討のお願い

認定NPO 法人への移行に伴う個人の寄付金額の控除は、正会員、学生会員の会費には適用されません。それは、正会員、学生会員は総会における議決権を有し、会の運営の意思決定権を持つからです。議決権に対価性があると認められるため、正会員、学生会員の会費は寄付とみなされません。そのため、寄付金控除の対象にならないのです。

今後、(1) 寄付金控除が無くとも、積極的に会の運営に関わりたいという方は「正会員」として、(2) 当会の活動、理念に賛同し、会を応援していきたいという方は、寄付金控除のある「賛助会員」として、ご支援を継続していただけますと幸いです。改めて、皆さまのご意思を確認する予定ですので、その際は「正会員」か「賛助会員」かご選択いただき、ご回答いただきますようお願い申し上げます。



主たる事務	〒840-0822	課法 11-232
所の所在地	佐賀県佐賀市高木町3番10号	平成22年6月8日
又は納税地		
法人名	特定非営利活動法人地球市民の会	
代表者氏名	山下 雄司 殿	

国税庁長官 加藤 治彦

認定特定非営利活動法人として認定する旨の通知書（通知）

貴法人から平成22年3月30日付でされた認定特定非営利活動法人としての認定を受けるための申請については、下記の期間を有効期間として認定するので通知します。

記

自平成22年7月1日
認定の有効期間
至平成27年6月30日

国税庁からの認定通知書です。

佐 賀 新 聞

地球市民の会「認定NPO法人」に

県内初 寄付金 税制で優遇

高い公益性など運営評価

佐賀市 国際協力や地域づくりに取り組むNPO法人地球市民の会（山下雄司理事長）が1日、一般市民や企業から寄付を受けやすくなる認定NPO法人に、県内で初めて認められた高い公益性や、経理処理など運営の適正さが認められたもので同会の寄付金に対して所得税や法人税の控除が受けられる。認定NPO法人は国税庁の認定を受ける必要がある。NPO法人は、寄付する場合は所得・控除が適用され、収入の割合で寄付金が集まり、住民税の控除が受けられ、法人は別荘の「損金」が算入（限度額を越えることができない）。

同会は2008年1月から申請準備に着手。ミヤマーの現地事務所、現地滞留の3種で処理するなどの準備を進めてきた。認定期間は今年6月までで、認定NPOは同会を含め全国で159団体になった。

同会はタイの農村部やミヤマーの教育支援などに貢献。前年度08年に77歳で亡くなった古賀武夫さんも、認定NPO法人化を目指していたという。山下理事長は「一取

佐賀市 市民の会（山下雄司理事長）が1日、一般市民や企業から寄付を受けやすくなる認定NPO法人に、県内で初めて認められた高い公益性や、経理処理など運営の適正さが認められたもので同会の寄付金に対して所得税や法人税の控除が受けられる。認定NPO法人は、寄付する場合は所得・控除が適用され、収入の割合で寄付金が集まり、住民税の控除が受けられ、法人は別荘の「損金」が算入（限度額を越えることができない）。

佐賀新聞に
掲載されました！

得までも2年半かかって以上に地域の世界に實たわれわれの使命を「献じていきた」と話しかつと胸に刻み、今までも。（古賀史）

~村プロジェクト活動だより~

村プロとは？

中山間地において、自ら飛び込み、地域づくりのお手伝いを行うことです。その時に、当会が海外で実践し、得てきた知識や経験等を活用する、中山間地の元気応援事業です。

村プロもいよいよ動きだしてまいりました。

日韓の学生主体で動く事業、市との協働事業など、今年の夏、イベント盛りだくさんです。

新かちがらす~日韓青少年交流~

《目的》

→日韓の大学生が交流プログラムを通し、中山間地の問題について考え、話し合います。

《日程》

→平成22年8月22日(日)~29日(日)

《場所》

→佐賀市富士町大串集落(全国棚田100選に選ばれた棚田があります)

《参加者》

→日韓大学生(10名、10名)

《活動内容(案)》

1. 集落を歩き、現状を学ぶ
2. 日韓大学生のディスカッション
3. ホームステイ
4. 体験活動
(農産物体験、川遊び、BBQなど)

村と街の「そーしそーあい」大作戦

《目的》

→佐賀市街地の子供たちに、安心で安全な食べ物
の大切さの理解(佐賀市が進める地産地消)を
促すと共に、市街地と山の集落の継続的な関係
の構築を促進する。

《日程》平成22年夏

《流れ》

- ①旧富士町・三瀬村の集落の方々が校区の親子に
集落のいいところ紹介
- ②興味をもった親子がその集落へ遊びに行く。(農
業体験や集落散策など)
- ③佐賀市ムツゴロウ広場にてイベント
A. 関連集落の農産物を子どもによる販売
B. 3チームによる子ども集落紹介
C. 集落紹介コンテスト、優勝チームへ産直品
抽選プレゼント

地球市民の会
事務局

行く人、来る人



★
離職

高柳かほる

TPAで経理など事務全般を担当していました高柳です。

この度、TPAを卒業することになりました。去年の3月から就職したにもかかわらず、気が付くと事務局長を除いて一番の古株になっていました。しかし、若手職員の方々には、2倍ほどの年が違ふ私を快く受入れてくれて感謝しています。テラでは、このページの“高柳は見た”シリーズがすっかり定着してしまっただけに、気が取れない限りでした。(きつと、次

の方が引き継いでくれるでしょう?)

これから、私は諸事情により冬眠に入りますが(季節は夏ですが・・・)また目覚めた時は、パワーアップして別の形でボランティア活動の一助を担えるように成長していきたいと思います。これからも、会員や関係者の皆様には、末永くTPAを見守り続けていただけたらと切に願います。短い間でしたが、大変お世話になりました。



★
着任

江口 恵美

はじめまして、7月から地球市民の会事務局で働かせていただくことになった江口恵美と申します。

7月末で退職される高柳さんの後任として、事務を担当させていただきます。

若い皆さんに囲まれてわくわくドキドキの毎日です。

以前は障がい者の方に関わる仕事をしていました。一番の収穫は、いろんな立場でたくさんの方々に関わられたことです。

今回、全く初めての事ばかりで、迷惑をおかけしますが、しばし温かい目をお願いします。

家では子ども3人の母親ですが、地球市民の会でもお母さんの存在になれたらいいな~と思っています。

地球市民の会での事業や取り組みに“夢”を感じました。一日でも早く仕事に慣れること、少しでも役に立てよう頑張ります! よろしく願います。

日々の活動はブログでご紹介いたしております。是非ご覧ください。<http://ameblo.jp/tpa-office/>



**仲良く生きられれば 100点満点！
おかげさま出版記念トークライブ
(創立5周年記念共催事業)**

陶彩画家で当会理事の草場一壽作「いのちのまつり」シリーズ第三弾「おかげさま」(サンマーク出版)の出版を記念して、5月22日佐賀市内でトークライブが行なわれ、800人を越える人達が心震える時間を過ごしました。

銀河鉄道999の車掌の衣装に身を包んだ草場さんをナビゲート役に、弓削田健介さんの歌と演奏、副田ひろみさんの語り、元宝塚で歌手の夢輝のあさんの歌、佐賀のティーンズミュージカルメンバーによる歌と踊り、そして、当会の理事で医師の満岡聡さんによる「いのちの授業」と盛りだくさんのプログラムでした。好評につき、シリーズ化するとの噂も…。

いのち、そして、そのつながりの奇跡への感謝を絵本という形で伝えるこのシリーズは夢の学校のシンボルとも言える本。これから大切に読み継いでいきたいものです。

*いのちのまつりシリーズ「ヌチヌグスージ」、「つながってる」、「おかげさま」は当会でも購入できます！

**設立5周年
平成22年度通常総会**

去る5月8日の通常総会で、今年度の活動方針と内容が承認され、夢の学校タマテ箱とぼうけんタマテ箱は自主的な運営へと舵をきり、教育シリーズとアウトリーチで夢の学校の理念や手法をより強力に発信していくことが確認されました。

どれだけ独創的で面白い活動が展開できるか、関係者一同張り切っています。これからも、応援を宜しくお願いします。サポーター募集中！

只今、仕込み中！

- ◆教育シリーズ6【9月】
現役の声優を迎える予定です。
- ◆「笑う日」【10月17日】
笑いと言えば、ご存知、あの方「三遊亭歌之介独演会」
- ◆教育シリーズ7【1月15日】
リクエストにお応えし、満岡先生の「いのちの授業」です。
- ◆アウトリーチ【2月】
人の声の持つ力に迫ります。

夢タマ エコスクールプロジェクト

グリーンサンタ基金より国産材のテーブル、ベンチ、本棚が寄贈されます。

それに伴いエコスクール（環境プログラム）に取り組む事になりました。

今年度、夢の学校タマテ箱ではプログラムにアロマセラピーを取り入れています。

そこで、アロマを通して環境の事を考えようと「夢タマ2010！アロマで地球を守れプロジェクト」と題して子ども達を中心にプロジェクトを進めています。なぜアロマとエコ（環境）なのか？

今後この紙面を通して活動の様子や状況をお知らせしたいと思います。



**ますます面白くなる
ぼうけんタマテ箱 2010**

夢の学校では自然とアートを人の育ちの重要な軸と考えています。自然体験を通して子ども達の体、心、頭を強く優しく育むこのプログラムも2年目になり、昨年の経験を元にさらに魅力的なプログラムへと進化しています。素敵な年間カレンダーもできました！

もうひとつ、嬉しいことに、ニッセイ財団の助成によりキャンプ用品を揃えることができ、今年は新しい形のプログラムが可能になります。乞う、ご期待！



武ちゃん語録

異質性は異質性のままで、全てを包み込む「大フロシキ人間」が我々の目指す「国際人」ではなからうか。



「夢の学校への思い」⑪

私らしく生きる

理事
アロマセラピーおかしら **中尾 朱実**

2歳12歳22歳32歳42歳・・・自分の人生の転機は10年毎にやってきた！
そして47歳のとき、予防医療としてのアロマセラピーと出逢った。転機は5年毎になった。
私は、多くの方に笑顔になってもらいたいと願い長年勤めた会社を退職し、予防医療としてのアロマセラピーサロン“Viss(笑顔)”を立ち上げた。
私が出逢った“心身ともに健康にしていくためのアロマセラピー”は、ふれあいを大切にしながら、心や身体やお肌に、優しく働きかける事が出来る具体的な方法を確立している。
私が実践している「予防医学アロマセラピスト」の仕事は、単に香りを楽しむだけのものではなく、現代の「ストレス社会」が生んでいく「生活習慣病」「心の病気」「いじめ」「不登校」「自殺」「突然死」「孤独死」など上げればきりが無い社会的な問題に対して、解決していく「社会貢献型予防医療アロマセラピー」である。それは、私が目指す「生きやすい社会！人生！」をコーディネートするライフコーディネーターとしての自分の理念の大きな柱となっている。
今年52歳・・・いよいよ私のセカンドステージ”ライフコーディネーター”として本格始動”である。予防医学アロマセラピストとして、健康的で心やすらぐ家作りのインテリアコーディネーターとして、親を亡くしたあしながの子ども達のママとして、社会福祉地域活動家として、多くの方が笑顔になれることを実践していく。
忙しくしている私に「中尾さん元気にしてね。じゃないと自分が元気になるための居場所がなくなるよ。そうなれば、自分はどうすればいいかわからない」そのお客様の一言が私の心に火をつけた。
私が生きている「意義・意味・使命」その答えは、『おかげさまで私は自分らしく生きる事が出来ました。みんなありがとう！』そう言って、終止符を打つ時に感じるであろうと思う。
それまで、私は私の人生駆け抜けます！
佐賀にある『古賀武夫先生の魂が生きる「夢の学校」』のアロマのおかしらとして、全国の皆さんにメッセージを贈る事が出来た今回の投稿に深く感謝申し上げます。

「私の考える教育とは？」⑪

ともだち先生

武道(空手)おかしら **田村 将策**



夢の学校の子も達に空手の指導をさせて頂いてます、サポーター第一号の田村です。
私は小5まで家が山の中にもありましたので、学校から帰ると友達と遊ぶより山に登った方が多かったです。むしろ昆虫や小動物が友達でした。
蝶々と同じ感覚でミツバチを捕まえて泣いて帰ったり、ケガをした野うさぎを治して逃してあげたりしてました。
夏、自転車置き場にはいつもママシがいて、夜窓を開けているとカブトムシがやって来て、寝ていて耳元がガサガサしたと思ったら、でっかいムカデが這っていて。そんな環境で育ったので、私は自分と自然と家族を区別した事はありません。
全てが一体であり一部であり敵対するものではないのです。
面白い話しをします。『カメムシは臭い？臭くない？』
この質問にどう答えますか。私は臭くないと答えます。イジワルするから臭いんでしょう。
自然の中で自然の一部として過ごせたのは良かったのですが、放課後友達と遊ぶ機会が殆ど無かった小学校時代。今、夢学の子も達と一緒に学ばせて頂いています。大人の社会に染まっていない子ども達は、みな自然そのものです。
子ども達にはケンカもさせます。仕向ける事はありませんが、ケガをしないように、始まったら最後まで見守ります。魂のぶつかり合いは学校では学べません。
漢字と算数、空手しか教えられませんが、“友達のような先生”私はこれでいいと思っています。

古賀道場の子ども達は今年も元気で大忙しです。

5月から大会続きで小学生から高校生まで大活躍してくれています。

8月には全国大会が目白押し。

全国大会に出場する子ども達の大忙しの夏が始まります。



道場通信

和道流
古賀道場



松尾昌大君(中学3年生)

全国中学生空手道選手権大会出場
県大会を見事優勝で飾り、こちらも2年連続
2度目の出場です。全国初勝利、そしてベスト
8、更には全国制覇も視野に入れ、本人のモチ
ベーションも上がっております。
こちらも、応援宜しく。

全国を舞台に
暴れてくるっす!!

光武裕介君(小学5年生)

全国少年少女空手道選手権大会出場
5月に開催された県予選を見事勝ち抜き、
2年連続2回目の出場権を手に入れました。
只今、本番に向けて猛練習中です。
応援宜しく。

第46回和道流空手道連盟全国大会出場者決定

8月21日・22日両日に東京武道館で開催される和道流全国大会に出場する道場生、道場OBの選手を紹介します。

古賀大喜(小学3年生)・福岡羊星(小学4年生)・古賀愛望(小学5年生)・福岡大晴(小学6年生)

深川大輝(小学6年生)・梶山広大(中学1年生)・梶山大地(中学1年生)・松尾昌大(中学3年生)

栗原紗希(高校2年生)・吉村哲哉(高校3年生)・吉村洋祐・吉村直記・松尾大輔・中溝大介(相模原道場)

注目!! 吉村3兄弟+松尾大輔、夢の団体戦実現!!

古賀道場チームの初戦の相手は、何と!あの庄原!!激戦に乞うご期待!!!

告知

女性に優しい 空手エクササイズ 大好評

古賀道場の空手を使ったエクササイズが密かにブームになりつつある!?
空手の基本動作を使ったエクササイズはシェイプアップ、そしてリフレッシュに最適!!

体験者の感想

エクササイズの生徒 E・Kさん

「本当に、程よい運動量と程よい汗が心地良い、エクササイズが終わった後は清々しくてたまりません。この気持ちよさを多くの人に知ってもらいたいですね♪」



- 開講日 毎週 水曜・金曜 午前11:00~12:00
- 受講料 3000円/1月 入門料なし 空手衣購入不要
- 対象 空手と健康に興味がある全ての女性の方(年齢不問)

今でも今までも英語を使えることで世界が広がり、色々な場所に行けたり、世界中に知り合いがいたり、あまり体験できないこともしてきました。もちろんこれだけ広い世界で英語が全てでは無いと思いますが、持っているツール(道具)としてはとても役に立つことは間違ありません。

英語はユニバーサルラングエージ(国際言語)であるのは否定できない事実です。たとえば、世界十カ国の人々が集まり、それぞれの言語を持っていくけど、コミュニケーションをとるのに使うのは英語しかありません。事実上、英語が一番便利です。

世界の市場を考える日本の企業では、英語を「使える」人材をもっともっとこれから求めいくでしょう。最近では、ユニクロと楽天が社内の公用語を英語にすることにいったさうです。世界をターゲットにした戦略としては当たり前で納得できることのように思えます。これから社内のメール、文書、会議が全て英語でやりとりされるようになったとしたら、「必要性」に応じて社員は英語を使うようになると思います。

プロゴルファーの石川遼くんは、スピードラーニングだけで英語が出来るようになったので

は決してありません。彼は英語を使えるようになる「必要性」があったのです。また、英語を実践できる「場所」もあったのです。それに加えて天才であるという事もあります。

英語に限らず言語を本当に修得するにはその「必要性」が大事なのです。ですが、「使う場所」と「使う理由」が提供できない日本の学校での英語教育現場では、英語習得ができる人材が育つのはまだまだ難しいでしょう。これだけ民間の英語教室が世の中にあつて、「かつこいい習い事」子どもに習わせたい習い事」として何年も続いてナンバーワンになっていきます。民間の英語教室を運営している僕が言うのも変ですが、せっかく学校で英語教育をしているのであれば、使えるような教育を学校ですべきだと思えます。大きな改革をして、日本全体の英語を使える力の平均値を上げていかななくてはならないと思います。

英語が本当に日本人に必要なという論議もあります。実際に今の世の中で、英語が必要な社会人の数は限られているでしょう。それなのに、なぜ小学校、大学まで英語を勉強するのでしょうか。これは現状ですが、今の子ども達が社会人になる頃には、実際にユニクロや楽天のように海外に設立した合弁企業などと

人材交流をしたりビジネス戦略を共有していくために、英語でコミュニケーションできることが必要な企業が増えていくのではないのでしょうか。もはや日本企業は世界企業へと進化していくのかもしれない。

日本が世界の国でもあるように、好む好まざるに関わらず、私たち日本人は世界中の人々とコミュニケーションしなくてはならない時代に生きています。自分の国を心から愛して世界平和を望むのであれば、世界の人々と本音でコミュニケーションをとることが必要ではないでしょうか。

古賀英語道場行事のお知らせ

古賀英語道場ではスピーチフェスティバルを7月23日(金)~24日(土)の日程で実施いたします。古賀英語道場では単なる英語教育に留まらず、これからのグローバル社会に対応できる人材を育てることを目標としています。その一環として、人の前で自分の意見を英語で発言することを日々訓練しています。難しい英語のスピーチや暗唱を発表するフェスティバルは今年で25回目になります。今までこの難関を突破してきた卒業生にとって、英語に限らず人前で話すことは社会に出てから大変役にたっています。これからもっとグローバル化が進んでいく中、英語でのコミュニケーション能力の発展は日本の未来にとって必要不可欠と言っても過言ではありません。今年度から、高校生はスピーチではなく英語ディベートにチャレンジします。もし、興味がある方は、是非足を運びください。

7月23日(金)
19:00~21:30
高校生の部 空手道場2F

7月24日(土)
13:00~17:30
小・中学生の部 循誘公民館

英語的思考の ススメ

古賀英語道場代表の青柳達也による連載コラムのスタートです。英語教育とグローバル人材教育というテーマについて、色々な視点から世の中を見つめながらコメントしていきます。

7~9月のお知らせ

●は地球市民の会、♥は古賀道場
★は夢の学校の行事です

●9月ミャンマーツアー実施!

日程:2010年9月5日~13日

参加費:174,000万円(航空券、現地滞在費、現地移動費を含む)
毎年恒例ミャンマーツアー!現地の人との交流を通して「本当の豊かさ」について学びます。普通の観光では味わえない感動と一緒に体験しませんか?7月23日申込締め切りです!

●新かちがらす計画 日韓青少年交流事業実施!

日程:8月22日~29日

この夏、佐賀市富士町に日韓の大学生達が集います☆楽しい交流は勿論、両国が共通して抱える中山間地の過疎問題を共に学び、考えます!

♥第1回英語ディベート フェスティバル(高校生)

7月23日(金)19:00~21:30
古賀空手道場2F

★ぼうけんタマテ箱 川のにんじゃキャンプ

7月23日(金)~25日(日)

★ぼうけんタマテ箱 夏タマテ箱

8月7日(土)~11日(水)



★ぼうけんタマテ箱 防災キャンプ(仮称)

9月25日(土)~26日(日)

★夢の学校タマテ箱 アロマセラピー交流in古湯

8月23日(月)

スタッフの
ひとこと

「結婚」について皆さんにずばり語っていただきました

最近、一気に若返ったTPAでは、独身20代3人娘が事務所を明るいきれな雰囲気にしてきています。そんな彼女らが理想として描いている「結婚」について皆さんにずばり語っていただきました。現実はその甘くない...かも?

地球市民の会

- 大野 博之** 結婚には新しい社会的役割の付加と言う意味合いがあります。卑近的に言えば「夫」「妻」という役割が独身の時にはなかった立ち位置として発生します。これは、習慣的な性差としての役割を意味するのではなく、自分の行動が自分だけではなく、パートナーに対してその責任を発生させる「夫」「妻」という役割という意味です。好き合っていたのは恋人時代とは同じだけど、結婚しただけでそんな見えない囚われが発生するのです。これに対する覚悟が結婚への第一歩だとおじちゃん的には思います。仕事では、私たち自営業者にとっては、仕事上の同志ですね?!お互いを尊敬し、励まし、生きてゆく覚悟を共にする。日々、勉強です。でも、普段の生活では安心の空間です。愛犬コロちゃんも含めてネ。
- 西村 尚子** 結婚は二人のテンションが一緒に勢いに乗れた時に出来る様な気がします。6年のお付き合いの末の結婚なので新婚感覚はなく喧嘩ばかりしたかな?でも学んだ事は、「相手を変えたい時は、自分が変わる事が一番の近道である」という事です。
- 高柳かほる** たくさん子どもがいて(野球チーム結成できるぐらいに)、にぎやかながらもほのぼのとした帰る家庭がある場所。老後も手をつないで散歩している。旅行に行ってもお互い変に気をつかわずに最後まで過ごせる人。
- 岩永 清邦** この人とだったら、何が起ころうと乗り越えていこう、と思える相手と結婚しようと思っています!!はじめて血のつながってない人が家族になる結婚。まだまだ未知の世界です。早く結婚してママになりたいと願う今日この頃ですが、その前に大好きな人の全てを受け入れる広い心を手に入れる必要があるかも...
- 鈴木亜香里** 私の理想の結婚相手とは...毎日愛をささやいてくれる人。なおかつ、関西人の私と笑いのセンスがぴったりで、いっぱい話を聞いてくれて、友達みたいな関係になれる人。そして、ミャンマーを好きになってくれる人☆そんな人と一緒に、ポジティブで好奇心旺盛に、梓にハマらず自由でぶっとんだ生き方をしたい!アクティブに、世界中のどこへでも一緒にいきたい!
- 戸田 玲子** 一緒にいたいと思える人と、温かい家族という空間を作っていくことが結婚だと思っています。早く結婚したいのですが...。相手がいないとできませんね(笑)
- 高祖 広季** 一緒にいて楽しい人。尊敬できる人と結婚したいです。東京に就職してカワイイ奥さんGETするぞ~!!
- 江口 恵美** 結婚して22年目、いろんなことがありました。でも今はもう1人の自分と言えるぐらいの近い存在になったような...?悩み事は尽きないですが、楽しい毎日です。

古賀英語道場・空手道場

- 古賀 大之** 今の僕には難しすぎるお題です...。40年後にもう一度来て下さい。とりあえず、「恵美子さん、これからもヨロシク♡」
- 古賀 恵美子** 結婚とは、一緒に生きていくことを決めた時にするものだと思います。おかげさまで結婚生活10年が経ちました。良い夫婦、良い友である事がいい夫婦関係だと思います。この場をかりて「大之先生!!これからもよろしくね!!」
- 古賀 洋子** 私の場合、結婚した当初「老後はゆっくり楽しくすごしましょう!」と約束していただきました。「海外にもいっぱい連れて行くから、楽しみにしてきんしゃい!」とも言ってくれました。長い時間の中で私も忘れていましたが...。思い出したけど、最初、そう言うてくれただけでも◎にしておきましょう。幸せな28年でしたヨ!
- 青柳 達也** 大好きなクレイジーケンバンドの曲「昼顔」を毎日のように口ずさんでいます。「朝も昼も夜も夜中でも夜明けでも III be there 奥さん 喜びと愛をデリバリするのが俺のJOB」と言う歌詞があり、それが結婚というものだと思っている。まだまだ現実と理想の間はさまよっている結婚2年目です。最近仕事ばかりやってあまり家にいませんが...

夢の学校をつくる会

- 吉村 薫** 忍耐とよくいますが、山あり谷ありですが、それを乗り越えた先、老夫婦で寄り添われている姿を見るとそれもまたよしと思えます。老夫婦になる前に他界した夫。今、思えばいろいろな事があっても老夫婦として寄り添う結婚生活送りたかったなあ...果して現実はいかに!!
- 相良 伸武** 結婚とは、理想ではなく、現実(修行)です。楽しい時も苦しい時も常に隣にいるのが嫁さんです。いつも良い顔はできません。だからこそ、しっかりと生きていく事が大事。お互いを認め、受け入れる謙虚さが必要。それから、夜中に嫁さんのおならで目が覚めて笑える小さな幸せを感じることも大事なかな~

●家電・住宅エコポイントでミャンマーの 緑を守る若者を育てよう!

省エネ家電や住宅を購入するともらえるエコポイントを、環境保全活動をしている団体に寄付できることはご存じでしょうか?地球市民の会も、このたび寄付対象団体に選ばれました!寄付いただいたポイントは、ミャンマーの若者に環境教育を実施するために使います。エコポイントの使い道を迷っている方は、ぜひミャンマーの自然を守るためにご協力ください。

●国際ふれあいフェスタ出店 アジアシアター&カフェ

日程:2010年9月19日(日) 場所:アバンセ
ミャンマーやタイの映像を見ながら、紅茶を片手にお昼のひと時を過ごしませんか?当日は、フェアトレード商品の販売も予定しております。皆さまのご来場、心よりお待ちしております!

♥第25回英語スピーチ フェスティバル(小・中学生)

7月24日(土)13:00~17:30
循誘公民館

♥古賀英語道場 夏季休業

7月25日(日)~
8月15日(日)

♥古賀英語道場 2学期英語授業開始

8月16日(月)

★ぼうけんタマテ箱 源流探検

9月5日(日)

★夢の学校タマテ箱 夏祭り

8月27日(金)

地球市民ネットワーク

■北海道地球市民の会
〒061-3214 北海道石狩市花川北4条2-197
会長/阿部功 事務局/新保知博
TEL・FAX: 0133-74-1296

■地球市民の会ふくしま
〒963-8681 福島県郡山市喜久田町1丁目120-1
榎石 崇
会長/事務局担当 石黒秀司
TEL: 024-959-6426
FAX: 024-959-6577

■地球市民の会東京
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-13
会長/有澤正典 事務局/佐藤敏行
TEL: 03-3662-0331
FAX: 03-3662-0400
E-Mail: arisawa@nun.co.jp

■地球市民ACTかながわ
〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203
会長/近田真知子 事務局/伊吾田善行
TEL・FAX: 045-622-9661
E-Mail: port@tpak.org

■地球市民の会ぎふ
〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻579-1
竹花園内
会長/森幹治 事務局/平井八重子
TEL: 058-391-5415
FAX: 058-391-8600

■地球市民みえの会
〒514-0027 三重県津市大門7-15津センターパレス3F
津市市民活動センター内
会長/伊藤洋之 事務局/秋葉幸信
TEL: 059-226-5700
FAX: 059-224-8911
E-Mail: miemiemiemi21@hotmail.com

■地球市民の会京都
〒605-0873 京都市東山区下島町484
会長/宮川尚子 事務局/西田一貴

■神戸戸有頂天倶楽部
〒657-0045 神戸市灘区下河原通3丁目4-3
会長/松元隆司 事務局/大西陽治

■愛媛地球市民の会
〒799-0712 愛媛県四国中央市土居町
入野859-1
会長/森高康行 事務局/丹生谷宗久

■北九州地球市民の会
〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-5-14
中央会館2F
会長/河野一郎 事務局/大山研児
TEL: 093-521-8181
FAX: 093-551-2296

■地球市民の会福岡
〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂2丁目30-4
榎屋屋内
会長/増田誠司 事務局/西村和寿
TEL: 092-801-5888
FAX: 092-801-5789

■(特活) コミネット協会
〒861-8039 熊本市長嶺南2丁目5-31
会長/池永憲太 事務局/富田、田中
TEL・FAX: 096-387-7139

■古賀英語・空手道場
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL: 0952-25-2295
FAX: 0952-26-4922

■夢の学校をつくる会
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL: 0952-22-6262
FAX: 0952-26-4922

ネットワーク・テラ 夏号 VOL.139

発行/特定非営利活動法人 地球市民の会
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
ホームページ: http://tpa.nk-i.net
E-mail: office@tpa.nk-i.net
TEL: 0952-24-3334
FAX: 0952-26-4922
発行日/2010年7月29日
発行人/佐藤昭二
編集人/地球市民の会 事務局
印刷/株サグラフィック

協力者一覧

地球市民の会 4～6月のご支援の皆様!! (本当に有難うございます)

正 会 員

秋葉 幸伸 (みえ)
 浅川 達夫
 芦刈 正則
 芦刈 由美子
 安心院 晶子
 麻生 靖史
 阿部 剛
 天ヶ瀬 三津代
 池田 瑛
 石井 志志
 山田 貴子
 市原 次郎
 稲垣 千佳子
 稲富 正人
 井上 常憲
 今泉 孝昭
 井本 勇
 岩谷 トモ子
 植田 寛
 植田 和夫
 上地 章夫
 内田 泰俊
 大串 三浩
 大野 保浩
 小笠原 平八郎
 小笠原 義朗
 尾崎 悦子
 小野 正裕
 浦生 利夫
 唐沢 稔
 川崎 栄久
 川松 善恭
 菊野 一豊
 北島 弥生
 北原 正敏
 草場 明
 久保 正則
 栗田 耕洋
 栗林 洋子
 甲古 慈猛
 古賀 和夫
 古賀 大津子
 古賀 智宣
 古賀 康友
 古賀 愛基
 古賀 園拓
 小園 正勝
 米谷 恭秀
 小近 藤井邦夫
 坂井 学
 坂井 善正
 境野 博
 佐久間 愛和
 櫻井 秀徳
 薩摩 一博
 七倉 博
 白木 省五
 瑞木 互
 杉本 法子
 杉本 幸
 瀬戸 正光
 瀬戸 昭英
 副島 祥進
 田口 陽子
 竹下 淳
 多田 二行
 田中 浩和
 多良 泉
 千津 奈加

晶子 幸子 (雅雪)

土井 敏弘
 土井 敏行
 土井 眞信
 土井 清孝
 徳光 悦郎
 澤川 京子
 豊川 俊子
 長澤 康子
 中島 康子
 中島 康子
 中村 俊範
 中村 久
 中村 電機製作所
 中村 正一
 中本 磨
 鍋島 巧貴
 成尾 一守
 西村 一雄
 新田 一ハヤ子
 納富 ハヤ子
 野口 平彦
 野本 正彦
 八谷 まち子
 林 彰
 原 康彦
 原 一博
 久恒 力也
 平野 喜幸
 深川 幹
 深川 ひろみ
 福井 丈一
 福岡 龍一
 福島 資磨
 福田 祐亮
 古川 壽宏
 古川 耕輔
 前田 伸二
 前田 彦彦
 牧瀬 弓雄
 松尾 隼雄
 松尾 侑美
 松田 孝裕
 的野 生子
 溝内 明茂
 峰 悦男
 宮島 町子
 宮地 治昭
 宮地 敏昭
 宮地 信文
 宮地 江義
 本山 満夫
 本山 義行 (愛媛)
 森永 勝馬
 森永 政司
 八田 康博
 山口 晃
 山口 廣
 山口 ひろみ
 山崎 みね子
 山下 雄司
 山本 泰
 紅 好秋
 横尾 孝幸
 横山 眞為子
 吉井 英隆
 吉田 敏子
 吉田 英雄
 吉次 孝
 吉村 典子
 吉本 正光
 米谷 正勝
 米谷 修
 力久 修

団 体 会 員

榊北島

榊佐賀銀行秘書室
 佐賀新聞社
 (有)ティグレ
 榊ミス

維 持 会 員

小林 敏孝

購 読 会 員

熊本 由美子
 岡本 明久
 北九州地球市民の会
 古賀 久志
 御厨 初美
 中原 憲

学 生 会 員

粟林 翔子
 林 美希
 樋口 七菜
 和泉 あやの

賛 助 会 員

貝通丸 直子
 富永 理加

切手・書き損じはがき

三井生命保険株式会社
 秋田 東京海上日動火災(株)
 七田 たけし
 石塚 雅子
 祐徳自動車(株)貸切バス事業部
 有田町社会福祉協議会
 佐賀神野町郵便局
 武田知美
 徳島建設 代表徳島政敏
 (株)副島金物 社長 古川清文
 松尾 由美子
 龍 千秋
 Aコープ城南店 本社 草場
 池田 サチ子
 NTT 斉藤
 富野 ともえ
 東与賀郵便局
 真崎 綾子
 御厨 初美
 河原 康子(つつみクリニック)
 榊読売西武アイエス 佐賀営業所
 真叙苑 佐賀支部
 深川 明子
 末次 撰子

寄 付 金

直塚 しま子
 タイ里親交流会
 三好 将司
 箏遊会
 今村 京市
 大野 勝

タイ クーキャオ 中 学

阿部 博
 阿部 礼子
 池田 サチ子
 板垣 道代
 井上 弘子
 岩永 公代
 内山 夕美
 浦郷 めぐみ

江頭 泰子
 江口 静子
 江口 典子
 円城寺 久好
 大島 佐江子
 木下 博和
 倉富 博美
 栗林 正則
 園馬 康子
 井藤 基忠
 澤山 澄子
 七田 聡
 白井 憲一
 次光 撰子
 杉住 省吾
 干野 泉
 高野 たずこ
 柳 俊光
 田保 克明
 田中 正義
 田中 暁美
 田中 信博
 田中 裕子
 田保 克明
 寺井 勝雄
 井土 敏弘
 徳永 千恵
 徳永 務ともえ
 富野 俊子
 中島 文子
 中村 志津香
 那須 玲子
 南里 幸利
 野内 直穂
 納富 ハヤ子
 納智 美
 秦 智美
 馬場 佐和子
 馬場 龍之介
 原田 洋一
 原田 典和
 彌富 枝里
 平川 朋子
 福井 文一郎
 福岡 ミチヲ
 福本 照代
 福本 睦子
 細貝 弓子
 本前 綾子
 松尾 侑美
 松尾 慶子
 松瀬 直美
 松谷 清志
 的野 直喜
 宮野 信文
 武藤 勝馬
 森永 義巳
 安川 則子
 山口 雄司
 山下 じゅんこ
 吉田 弥生
 吉田 良治
 愛野 明子

タイ クーキャオ 高 校

青柳 光美
 内山 治郎
 江頭 泰子
 江口 静子
 円城寺 久好
 大串 千和子
 大塚 寿美雄
 大野 博之

加藤 由紀子
 北村 尚道
 古賀 大重
 小松 佳寿子
 佐々木 友二
 住友 かずこ
 千野 京子
 高野 美知恵
 長野 峰次
 中山 幸直
 山江 治美
 納野 恒治
 内川 清和
 野口 清和
 川枝 久美子
 松林 直喜
 的野 由香
 森田 永馬
 森新 康博
 八田 まえ
 吉岡 英隆
 岡田 多江子
 吉林 多江子

タイ ボーゲウ 校

池田 サチ子
 石川 祥子
 稲葉 田鶴子
 江口 はる美
 亀井 一恵
 北原 壽馬
 小園 亜矢
 田中 輝夫
 堤 純子
 寺戸 光俊
 戸田 玲子
 西村 賢二
 江納 幸利
 江岩 佳名子
 福井 丈一郎
 寶崎 正美
 眞崎 健次郎
 松瀬 直美
 松林 久美子
 宮本 町子
 本村 美佐子
 森池 節子
 吉井 学
 吉田 史郎
 吉田 じゅんこ
 吉田 純子
 龍 千秋
 愛野 良治

スリランカ・シヨダヤ 奨 学 金

唐澤 利夫
 池田 瑛
 長澤 京子
 市原 次郎

ばん・たわんへ 寄 付 品

古賀 洋子
 豊川 悦郎
 大坪 恵介
 西村 尚子
 吉村 薫

タンボジ サポーター 基 金

御厨 初美
 唐沢 利夫
 上地 章夫

※順不同で掲載させていただいております。

※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。いつも本当にありがとうございます!!

ミャンマーへ贈る お箏の音色

2010年5月30日(日) 佐賀市のアバンセホールにて、「箏遊会(そうゆうかい)文化箏チャリティーコンサート」が開催されました。箏遊会は、地球市民の会会員の古賀真理子さんが代表を務める、その名の通り「お箏で遊ぶ会」です。文化箏という、全長86cmの手軽でコンパクトなミニ箏を演奏されています。

この日は、年に一度のコンサート。会場ロビーには、コンサート写真の展示や「文化箏お試し演奏コーナー」がありました。そして、受付の一番目立つ場所に、地球市民の会より「ミャンマー映像展示コーナー」を設けさせていただきました。たくさんのお客さんがいらっしやり、400名の会場がほぼ満席になるという盛況ぶりでした。

演奏を拝聴させていただきましたが、古賀真理子さんとお弟子さんたちが一生懸命に、楽しくお箏を演奏されていた様子が印象的でした。日本古来の伝統的な曲が中心かと思いきや、童謡やポピュラー音楽など、親しみやすい曲がたくさん！思わず口ずさんでしまうお客さんもチラホラ。最後のアンコールでは、会場にいる全員で「ドレミの歌」の大合唱！大変楽しいコンサートで、私も文化箏にチャレンジしようかなあと思うほどでした。

箏遊会の皆さんが、ミャンマーの子ども達のためにチャリティーコンサートを開いてくださったのは、今年で2回目です。今回ご寄付いただきました154,740円は、ミャンマーの子ども達のために大切にに使わせていただきたいと思います。古賀真理子さん、箏遊会の皆さん、本当にありがとうございました。



箏遊会(そうゆうかい)
文化箏チャリティーコンサート～ミャンマーの子ども達へ～
日 時：2010年5月30日(日) 13:00開場、13:30開演
会 場：アバンセホール
入場料：500円
主 催：文化箏 箏遊会(代表 古賀真理子)

佐賀、タイ、ミャンマーの子どもたちに、笑顔をプレゼント

佐賀の方なら誰もが知っている、株式会社ミズの「溝上薬局」。2009年より、株式会社ミズと地球市民の会の協働で「RTMほっとかれんもんプロジェクト」を展開しています。「利他(誰かのためにという意)」のR、「TPA」のT、「株式会社ミズ」のMでRTMです。どこかで困っている誰かのことを「ほっとかれんもん!(ほうっておけないよね)」という気持ちでスタートしたプロジェクトです。講師派遣、タイ奨学生支援、ミャンマー学校建設募金の3つのプロジェクトを行っています。

1) 講師派遣

佐賀県内の小中学校に、ミズの薬剤師さんと地球市民の会のスタッフが出張授業に参ります。国際理解や健康に関する授業、ワークショップは大好評です。派遣に関わる費用はミズが負担していただきますので、学校側は無料です。2009年度は4校訪問しましたが、2010年度はもっと多くの学校に行きたいと考えています。

2) タイ奨学生支援

タイの高校生5名、中学生5名が学校に通えるよう、ミズが里親となってくださっています。社員の皆さまとタイの奨学生を、地球市民の会がつかないでいきます!

3) ミャンマー学校建設募金

溝上薬局の店頭に募金箱が設置されているのをご存じでしょうか?こちらの募金箱に入れていただいたお金は、ミャンマーの学校建設のために使わせていただきます。皆さま、ぜひご協力ください!

このように、地球市民の会では、企業・団体の皆さまや個人の皆さまからご協力をいただいたり、協働でプロジェクトを行ったりしています。

事務局は、「ミャンマー、タイ、スリランカのために何かしたい!」という皆さんの想いをカタチにする仕事に、これからも力を入れていきたいと思っております。アイデア等、事務局までお知らせください。

佐賀と世界をつなぐ活動をこれからも続けていきますので、皆さま応援よろしくお願ひします。